

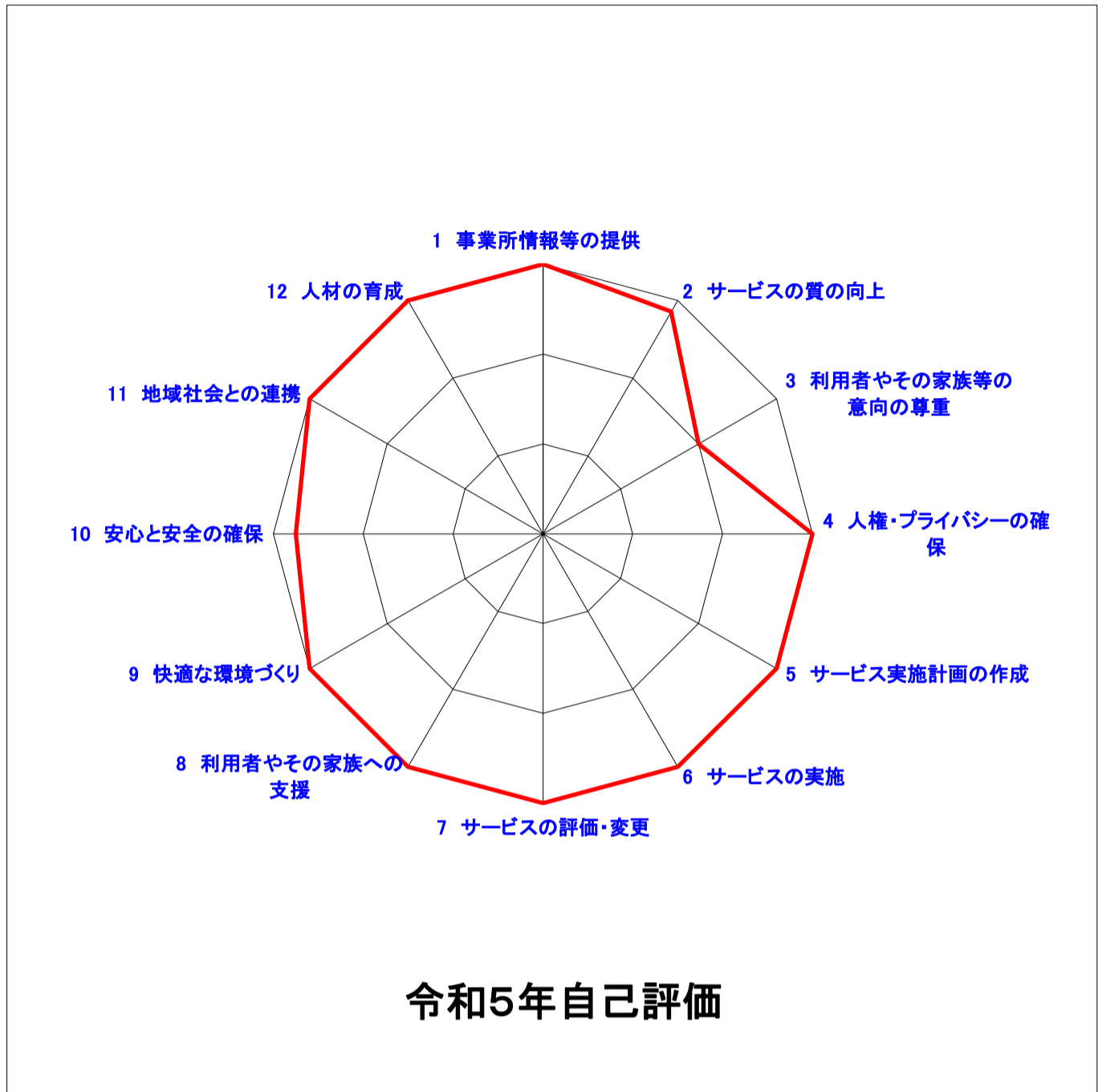


緑が丘美香苑ショートステイサービス(ユニット型)

(事業者番号: 1272603661 )

短期入所生活介護(予防)

事業者名 社会福祉法人八千代美香会
事業所名 緑が丘美香苑ショートステイサービス(ユニット型)
サービス名 短期入所生活介護(予防)
評価委員構成 施設長:坂元庸一、副施設長:森岡敏和、短期入所生活相談員:田中喜晃、介護主任小田登志江、看護主任:又村裕美子
評価手順 下記の手順によって、自己評価を依頼し評価をした。 令和5年12月26日 評価依頼 令和6年1月17日 自己評価委員会開催
自己評価年月日 令和6年1月17日
評価責任者 役職名 施設長
評価責任者 氏名 坂元 庸一



事業所の運営			
<b>1 事業所に関する情報等の提供</b>			
事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	A	B	C
事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。	A	B	C
「事業所に関する情報等の提供」に関する特記 令和5年3月に特養が開設し、同様に単年度計画を行い、法人の基本方針や事業計画など、職員へは説明を行い、更にご利用者ご家族へ配布、閲覧できるように施設内に設置している。			
<b>2 サービスの質の向上</b>			
サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に職員が参加している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。	A	B	C
サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。	A	B	C
職員の資質向上に向けた体制を整備している。	A	B	C
職員の研修機会を確保している。	A	B	C
職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。	A	B	C
「サービスの質の向上」に関する特記 開設初年度として、サービスの向上に向けた中長期計画は作成予定である。食事や排せつなどサービスの検討を定期的に行い、職員の研修も定期的に行うなどして、サービスの質の向上に努めています。			

利用者の尊重・保護			
<b>3 利用者やその家族等の意向の尊重</b>			
サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。	A	B	C
利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。	A	B	C
行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している。	A	B	C
「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記 利用者やその家族等への説明と同意に関するマニュアルは定めておらず、要検討。日々、ご意向を伺いサービスに反映しているが、更に生活意向調査を年度末に実施し、次年度へ反映予定。			
<b>4 人権・プライバシーの確保</b>			
人権やプライバシー確保に配慮している。	A	B	C
個人情報の保護を徹底している。	A	B	C
身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている。	A	B	C
「人権・プライバシーの確保」に関する特記 個人情報管理規程を定め、更に職員は入職時に誓約書を取り交わし、利用者やその家族等に関する情報の取扱を適正に行っている。			
<b>サービス実施過程の確立</b>			
<b>5 サービス実施計画の作成</b>			
利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。	A	B	C
「サービス実施計画の作成」に関する特記 適宜作成している。			
<b>6 サービスの実施</b>			
サービスの標準的な実施方法を定めている。	A	B	C
利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。	A	B	C
「サービスの実施」に関する特記 個々のサービス内容をマニュアルを随時、見直すなどしてサービス提供している。介護ソフト(ICT)を活用し、ショートステイ会議を独自に開催し、利用者の状況を共有し、サービスの質の向上に努めている。			
<b>7 サービスの評価・変更</b>			
サービス実施に関する評価を行っている。	A	B	C
サービス実施計画の見直しを行っている。	A	B	C
「サービスの評価・変更」に関する特記 介護支援専門員と連携を図り、ご利用者及びご家族様の要望を踏まえ、サービス提供方法の改善を行っている。			

## サービスの適切な実施

### 8 利用者やその家族等への支援

サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。	A	B	C
余暇活動や生きがいづくりへの支援を行っている。	A	B	C
家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている。	A	B	C
利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。	A	B	C
利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。	A	B	C

#### 「利用者やその家族への支援」に関する特記

生活意向調査を年度末に実施予定。また、面会は感染症の観点から1階地域交流スペースとしていたが、ご利用者及びご家族の意向も踏まえ、居室面会も実施する等、対応の緩和を図っている。ショートステイご利用者も理美容支援を行っている。

### 9 快適な環境づくり

快適な生活空間(居室)の整備に配慮している。	A	B	C
快適な食事環境の整備に配慮している。	A	B	C
郵便や電話などの通信機会を確保している。	A	B	C
利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている。	A	B	C

#### 「快適な環境づくり」に関する特記

ユニット型個室にてプライベートを広く確保。ご利用中の地域との繋がりは感染症の配慮しながら、小学校総合学習にて施設見学会や町探検などを受け入れ、今後は地域住民が参加できる納涼会などを企画予定。

### 10 安心と安全の確保

事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている。	A	B	C
事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している。	A	B	C
衛生管理などを徹底している。	A	B	C
利用者の健康保持に配慮している。	A	B	C

#### 「安心と安全の確保」に関する特記

事故防止マニュアルを整備し、日々確認を行いながら安全に配慮しており、定期的(年1回)総合的に点検ができるようチェックリスト作成は要検討。安全な生活を送れるように努めたい。

### 地域等との連携

#### 11 地域社会との連携

事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。	A	B	C
ボランティアの受入に配慮している。	A	B	C

#### 「地域社会との連携」に関する特記

特養同様で、八千代市特別養護老人ホーム連絡協議会等で情報交換を行っており、関係施設間の連携を図っている。

#### 12 人材の育成

実習生を受け入れる体制を整備している。	A	B	C
---------------------	---	---	---

#### 「人材の育成」に関する特記

感染症の観点も踏まえ、養成校と協議のうえ、受け入れを行っている。介護人材育成に関わる施設としての自覚を持ちながら、未来の介護福祉士を要請できるよう養成校と連携していきたい。

#### 総評

令和5年3月に特養が開設し、その後、5月にショートステイが開設。ユニット型個室の広い部屋にて、ゆっくと過ごして頂いています。新型コロナウイルス感染症の流行時期に開設施設として、施設設備は正面玄関の手洗い場、全館換気機能、オゾン発生器等の様々な感染症予防の取り組みを初期段階から導入しています。広域のご利用者にご利用できるように、通常の送迎の実施地域は「八千代市、佐倉市、船橋市、千葉市、習志野市、四街道市、印西市」としています。日ごろのご利用者の健康を第一に考え感染症予防を実施するとともに、ご利用者とそのご家族も支援ができるよう介護サービスを提供し続けたいと思います。